

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	必修
担当教員			
竹上 健			
B（経営学科）	S（専門科目）	SM（演習）	402（専門ゼミ・卒業論文等）

授業のねらい（概要）	経営学課題研究では、ゼミ生全員で協力し合って、フリー映像編集ソフトを各々のPCにインストールして、基本的な映像編集技術を修得する。また、フリー音楽をインターネットからダウンロードし、BGMとして映像に組み込む技術も修得する。次段階として、アナウンスや字幕による映像説明だけでなく、フリーの音声合成ソフトを活用して、合成音声による映像説明も行えるようにする。その後、海外母国在住の日本語学習者へ日本の紹介のために、大学近隣映像を編集するとともに、各自で個別の研究テーマ設定に取り組む。		
授業計画	1	経営学課題研究について（授業目標、成績評価の方法など）	
	2	映像編集に関する知識収集と編集作品の視聴	
	3	映像編集ソフトのインストール	
	4	映像編集ソフトに関する知識・技術の修得	
	5	映像編集ソフトを使つての映像編集の実践	
	6	音声録音ソフトのインストールとアナウンス録音	
	7	音声合成ソフトのインストールと音声録音	
	8	BGMとして利用できるフリー音楽の準備	
	9	高崎商科大学紹介映像編集	
	10	大学紹介映像への協定校の日本語学習者の反応収集のためのビデオ通話	
	11	協定校の日本語学習者と日本の地域紹介映像への希望収集のためのビデオ通話	
	12	協定校の日本語学習者に向けた日本の地域紹介映像制作の検討	
	13	協定校の日本語学習者に向けた日本の地域紹介映像制作	
	14	地域紹介映像への協定校の日本語学習者の反応収集のためのビデオ通話	
	15	卒業研究に向けた向けた経営学課題研究の活動のまとめ	
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	2．情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3．専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 【身に付くスキル】 生涯学習力・論理的思考力		
到達目標	①大学生として自主的学習意欲を向上させ、総合的な能力の育成に努められる。 ②映像編集に関する基礎知識の修得とフリー映像編集ソフトにて具体的に映像編集ができる。 ③BGMとして利用できるフリー音楽をインターネットからダウンロードできる。 ④情報処理に関する知識・技術を活用して、海外との交流活動につなげることができる。 ⑤自らの演習体験に基づいて考察を行い、4年次の卒業論文制作につなげることができる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	翌週の授業のはじめに課題などを確認しながらフィードバックを実施。		
履修上の注意	・経営学課題研究は、グループ活動やゼミ生全員が協力して行うことになるが、中心となつて行う演習の具体的なテーマは個人ごとにすべて違ったものである。あらかじめ、本人が努力しない限り結果が得られないことを自覚しておくこと。 ・学習量、作業量などが多くなるので、授業以外の時間を活用する必要がある。このため、自己のスケジュール管理を十分に行い、準備不足などを起こすことが無いよう努めること。		
成績評価の方法・基準	①毎週の演習課題の対応状況(25%)、映像編集(25%)、海外との交流実践(25%)、経営学課題研究の活動のまとめ(25%)の結果で総合的に評価する。 ②毎週の演習課題の対応回数が80%に満たない者、映像編集ソフトについて学修を行わない者、映像編集を行わない者、海外との交流活動を行わない者、経営学課題研究の活動のまとめを行わない者には、単位を認定し、		

	ない。
教科書	特に使わず、電子教材・課題プリントを配布する。
参考書・教材	【参考書】自らが検索・収集することとするが、必要に応じて紹介する。
備考	講義科目
教員との連絡方法	LINE（初回の授業でグループを設定。）